

# 令和5年度 自己評価 報告書

A：とても思う B：思う C：あまり思わない D：思わない

重点目標	A	B	C	D	・成果・課題・改善案
1 前年度の学校評価から明らかになった課題や、児童の実態、保護者の思いを踏まえ、学校が伸ばそうとしている特色や解決を目指す課題に即して重点目標を具体的かつ明確に設定し、示している	14	5	0	0	経営理念を教職員に周知し、学校だよりでは世田谷区の方針を受けた内容を伝え、日々、ホームページ学校日記などで実践を伝えている。保護者会なども定期的に関き、具体的な教育内容を伝えている。
2 教職員は重点目標を共通理解している	18	2	0	0	
3 保護者・地域へ重点目標を十分に説明している	15	5	0	0	
4 重点目標にそった取組を、全教職員で計画的に進めている	16	4	0	0	年間指導計画、教育計画を元に教員同士よく相談し、連携をとって取り組んでいる。
①思いやりのある、優しい子ども：他者の存在を尊いものと認め、その心を形（態度・行動）として表現することの基本となるあいさつや、他者の考えをしっかりと聞く態度や行動ができる児童の育成を図る。	10	10	0	0	なかよし班ごとのあいさつ運動を取り入れていく。ALTがいらっしゃる金曜日にはEnglish DAYとして英語でのあいさつを交わせるようにする。学校全体の生活目標を今年度から、月ごとに変更するのでなく重点的に繰り返すことで、児童への意識が高まり、少しずつ成果が見えてきたように思う。児童の実態をよく把握し、思いやりのある優しい子供を育てるという意識をもち、児童との信頼関係を大切に、日々の生活指導、学級活動、学校生活アンケートを元にした面談、QUアンケートの結果を踏まえた対応などを行い、変容、成長が見られた。
②課題発見と解決にむけて主体的・協働的に学ぶ子ども：基礎的基本的な学習内容を身に付けさせ、自らが主体的に学び、相互で高めあう授業を通し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続ける児童の育成を図る。	10	10	0	0	ハンドサインを使って自分の考えを表現し、意欲をもって学ぶ姿が増えてきた。ハンドサインやグループで話し合うことを通して、「分からないから友達の見聞を聞いてヒントにしたい」や「2人で相談して考えてもいいですか」等、意欲的に考えたいという主体的に学ぶ姿勢が見える児童が増えてきた。課題解決型の学習形態が進められてきていると思う。せたがや探求的な学びを各教科で実践することを心がけ、自ら課題を見つけ、解決に向けて協働的に学ぶ児童が成果を実感することができた。（総合、青年会議所やゲストティーチャーの協力をいただいたプレゼン発表など。）
③心身ともに健康で自らの力でたくましく生きる子ども：基本的な生活習慣や望ましい運動習慣を身に付けさせ、健康な心と体をもつ児童の育成を図る。	7	11	2	0	短縄、ペースランニングといった体力づくりの他に、休み時間の外遊びを活性化（集団遊びが制限されていた時期があったことの悪影響があるので）方法を考えたい。

5	児童に「よい学習習慣を身に付けさせる」ための指導をし、成果をあげている。	9	11	0	0	ハンドサインは効果的な取り組みである。 iPadのルールやマナーも年度初めに教員間で確認し、共通した指導を行う。
6	児童に「ひとつでも多くの自信をもたせる」ための指導をし、成果をあげている。	11	9	0	0	
地域との連携・協働による教育		A	B	C	D	
7	地域の人材や施設等の活用を進めている	12	5	0	0	火曜日のピオトープはよい活動だと思う。 町探検ではたくさんの地域の方から温かい学びがたくさんあった。 コロナが落ち着き、それぞれの学年で校外の活動が積極的に行われていて良いと思う。 6年生 キャリア教育 保護者の方以外にもPTA会長さん、卒業生の保護者の方にも参加いただき充実した学習ができた。
教育課程		A	B	C	D	
8	学習指導要領に従い、「キャリア・未来デザイン教育」に基づき、教育課程を編成している	12	5	1	0	どの学年もキャリアパスポートの活用を行い、保護者会等で保護者にも見せる等積極的に取り組んでいて、児童の振り返りにも活用できている。
学習指導		A	B	C	D	
9	「せたがや探求的な学び」に基づく授業や教育活動を実践している	14	6	0	0	
10	個に応じた指導を適切に行っている	12	6	2	0	低学年算数（特に計算単元）では、T2がいる時間に支援ができた。
11	体験的・問題解決的な学習を進めている	12	8	0	0	
12	指導と評価の一体化を図っている	11	9	0	0	
13	評価規準を明確にして評価している	10	10	0	0	
14	基礎的・基本的な内容の定着を図っている	13	6	0	0	
生活指導		A	B	C	D	
15	「子供のいるところには大人がいる・大人のないところには、子供もいない。」を徹底している	13	7	0	0	できる限り、子どもがいるところに大人がいるようにを今後も実践していく。

16	基本的な生活のルールや学校のきまりを、児童に理解させている	14	6	0	0	4月の初めに教員が基本的な決まりについて共通認識する機会を設けることが必要だと思う。 →基本的なルールは池之上のきまりを周知する。4月当初はトライ&エラーもあるので、すべてを一度に確認するというよりは、やってみて不都合や不具合が見つければ、その都度確認し、改善を図っていきたい。 9月からは新校舎に移転するので、なおさらそのような気持ちでありたいと思う。
17	生活指導上の課題に組織的かつ迅速に取り組んでいる	15	4	0	0	
18	「学校生活アンケート」や「Q-U」を活用して、児童の変化や訴えに気づき、いじめの未然防止や早期発見に取り組んでいる。	14	5	0	0	
19	学級や学年、授業での児童の様子を夕会等で伝えることで、児童理解や生活指導の状況を共有し、学校全体で指導に当たっている。	17	3	0	0	
20	いじめ防止基本方針を設定し、未然防止や早期発見・対応に向け、組織的かつ迅速に取り組んでいる	14	5	0	0	
21	スクールカウンセラーや相談室との連携を図っている	15	4	1	0	
道 徳		A	B	C	D	
22	年間指導計画に基づいた指導をしている	12	4	0	0	
23	道徳的心情・判断力・実践力を育てている	11	6	0	0	
24	家庭や地域とも連携して「人格の完成をめざして」の取組を進めている	5	11	0	0	
特別活動		A	B	C	D	
25	年間計画に基づいた指導をしている	11	6	1	0	
26	児童の創意工夫をいかした指導をしている	10	9	0	0	
27	児童の自主的・実践的な態度を育てている	12	7	0	0	
学校行事		A	B	C	D	
28	児童が主体的に行事に参加している	14	4	0	0	

29	学校行事の工夫改善を進めている	10	8	0	0	行事への準備や会議は、計画的に行われているが、時間内に終わらない内容や時間設定になっているので、行事をしっかりと行うためにも内容の精査や取り組み方を再考してもいい時期かも知れない。→会議は休憩時間に食い込まないように回数、時間設定をする。新年度の行事予定については、6年度のうちに7年度の内容をしっかりと考える必要がある。令和6年度の年間行事予定を作成の段階で、多くの目で見えて意見を出し合いながら作っていただけるように教務から「見てください」の声掛けをしていく。
30	学校行事の準備を適切に行っている	14	2	2	0	時数も意識して、児童のプレッシャーにもならない程度の指導を心掛けている。
31	行事の事前・事後の学習は確実に行われ、行事を通した学びは、学級活動や教育活動に生かされている。	15	3	0	0	キャリアパスポートの活用が行われている。運動会や学芸会で主体性が育ち、児童同士の人間関係が良くなった。
健康教育		A	B	C	D	
32	児童の体力向上や健康教育に取り組んでいる	13	4	1	0	
33	食育の推進に計画的に取り組んでいる	9	8	1	0	給食と図書のコラボなど、食に関する興味関心が高まり、完食も増えた。ランチタイム放送、リクエスト給食、コラボメニュー、季節食など食育の機会が豊富にある。
キャリア教育		A	B	C	D	
34	「キャリア・未来デザイン教育」を年間計画に基づき計画的に実施している	11	5	1	0	
特色ある教育活動		A	B	C	D	
35	学び舎の特色ある教育活動を実施している	10	9	0	0	学び舎として、取り組んでいこうと決めたことが、少しずつできている。
特別支援		A	B	C	D	
36	校内体制が整備され校内委員会が機能している	14	6	0	0	迅速に情報が共有され、良く連携が図れていると思う。
37	個別指導計画を作成し活用している	15	4	0	1	連携型個別指導計画は、保護者に担任の先生の思いや意図などを伝える手段の一つとして有効的だった。引き続きすまいる・担任と連携していきたい。
38	区の教育相談室や関係機関との連携を図っている	13	6	0	1	
学校経営・学校運営		A	B	C	D	
39	校長の経営方針が明確に示されている	19	1	0	0	

40	校長のリーダーシップが発揮されている	19	1	0	0	
41	教職員一人一人が主体的・組織的に教育活動を行っている	19	1	0	0	
学校評価		A	B	C	D	
42	学校評価を適切に実施している	17	2	0	0	適宜反省をまとめ、次への改善点が話し合われている。
43	保護者や地域の意見が、適切に学校運営に反映されている	12	6	1	0	
教職員		A	B	C	D	
44	問題意識や悩みを気軽に話し合える職場となっている	18	2	0	0	すまいるルームに通室している児童について、担任と情報を共有できている。
45	教職員の服務規律への自覚が高く、かつ守られている	20	0	0	0	
保健衛生管理		A	B	C	D	
46	日常の健康観察を適切に行っている	16	3	0	0	
47	感染症等の予防、対応を適切に行っている	15	3	0	0	
48	学校環境の衛生管理を適切に行っている	15	3	0	0	
49	学校給食の衛生管理を適切に行っている	14	4	0	0	
安全管理		A	B	C	D	
50	危機管理マニュアルを有効に活用している	10	9	0	0	
51	通学路の安全点検を適切に行っている	13	6	0	0	定期的に通学路点検を行っていきたい。登校時や下校時に子供たちの安全を見守った。*通学路の物面だけでなく、歩き方等のチェックもして、改善していく。
情報提供		A	B	C	D	
52	保護者や地域の方々に対して情報を積極的に発信している	16	3	0	0	学校だより、保護者会などの通知、運動会号などをすぐーるでの配信に変更し、今まで以上に情報発信をしていく。
53	保護者や地域の方々に教育活動を積極的に公開している（学校だより、HP、校内掲示など）	12	7	0	0	
経 理		A	B	C	D	
54	私費会計の徴収・会計処理を適切に行っている	14	5	0	0	
情報管理		A	B	C	D	

55	個人情報を適切に管理している	17	3	0	0	学校での個人情報の取扱いについては厳重に行っている。
施設設備		A	B	C	D	
56	教育環境を整備している	16	4	0	0	
57	日常的な施設設備の管理や点検を適切に行っている	15	4	0	0	AEDの点検や、水質検査など学校施設の点検や整備を毎日行った。